

授業概要

本カウンセリング論の講義は、第一に対人関係形成のベースとなるカウンセリングの基本姿勢・技法を学ぶこと。第二に、家庭人、社会人としての資質の向上につながる各論と具体的対応術を学ぶことを目的とします。

授業計画

＜現代社会と相談ニーズ＞	
第1回	第1回 ガイダンス、－現代社会と相談ニーズの高まり－
第2回	第2回 相談ニーズとカウンセリングの領域
＜カウンセリングの基本＞	
第3回	カウンセリング・マインドとは？－カウンセリングの基本姿勢とプロセス－
第4回	カウンセリングの基本技法（言語的・非言語的コミュニケーション技法）
第5回	カウンセリング演習（傾聴演習）
＜カウンセリング理論と実践への活かし方＞	
第6回	カウンセリング理論と実践への活かし方①－来談者中心療法と行動療法－
第7回	カウンセリング理論と実践への活かし方②－森田療法と内観法－
第8回	カウンセリングと倫理
＜問題別支援の実際＞	
第9回	問題別支援の実際①－登園拒否と分離不安・親子関係－
第10回	問題別支援の実際②－登園拒否事例への支援－
第11回	問題別支援の実際③－発達障害と学校不適應－
第12回	問題別支援の実際④－AD/HD 支援における実践例－
第13回	問題別支援の実際⑤－現代人のメンタルヘルスとストレスマネジメント－
第14回	問題別支援の実際⑥－うつ病への支援－
第15回	定期試験

履修上の注意

臨床心理学を予め履修していることが望ましい
 出席の扱い：毎授業時、出欠の確認。 遅刻の扱い：講義開始後30分以内とする。
 本講義はワークショップを組みながら理解を深めていくことを目的としていますので積極的に臨んでください。「教育相談の理論と方法」との重複履修はできません。教室での私語、飲食、携帯使用など授業マナー違反者に対しては履修を認めない場合もあるので注意してください。

評価方法

出席状況（3分の2以上）、課題の提出・達成状況、期末試験結果による総合評価。出欠管理は自己責任において行うこと。欠席が6回以上の者は期末試験の受験資格を失います。

テキスト

特になし：授業時に資料配布

参考図書：

- 「カウンセリングのすすめ方」中西信男 有斐閣 1983
- 「カウンセリングの技法」國分康孝 誠信書房 1979
- 「乳幼児の発達心理」浅見千鶴子、他著 大日本図書 1980
- 「障害特性の理解と発達援助」長野恵子、他著 ナカニシヤ出版 2001
- 「カウンセリング練習帳－人間関係システム視点－」水野修次郎 プレーン出版 2001

